

# 足利市民文化

# 財 団 報

第40号

令和4年9月1日

発 行

公益財団法人 足利市民文化財団

栃木県足利市本城3-2145

(足利市教育委員会事務局文化課内)

電話 0284-20-2229

文化財団設立40周年事業

企画展「あしかがの歴史と文化 再発見!」

— 鎌倉殿の義弟 足利義兼の祈り 大日如来坐像 —

市立美術館で 7月30日~10月10日まで [教育委員会と  
共催で開催中]

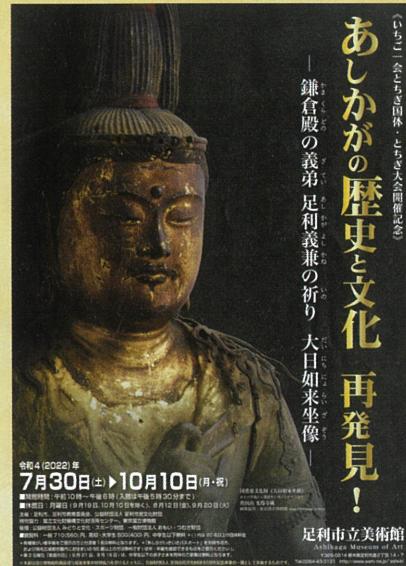
## 32年ぶりに里帰りする大日如来坐像

およそ820年前の鎌倉時代前期の運慶作と考えられます。この大日如来坐像の手は、金剛界大日如来を表す智拳印を結んでおり、光背も日輪を中心とした波紋の銅板で、台座の筒型敷茄子は珍しいもので、蓮弁には所々に水晶の玉が飾られ壯厳な氣品溢れる作です。また、仏像を納めた筒型の厨子は、両扉に金剛界、胎藏界を表す種字が入っていて、内部には金剛界三十七尊を表した37軀(現在28軀)の仏が飾られています。



厨子入木造大日如来坐像  
(足利市光得寺蔵)

足利義兼(足利氏第2代当主であり、源頼朝の義弟)が東大寺で出家した後、木像の入った厨子を、自ら背負って諸国を回り、創建した権崎寺に安置したと言われ、明治の初めに光得寺へ移されました。国の重要文化財となっており、足利市の展示は32年ぶりです。(今回は仏像のみの展示です。)



この企画展期間中に、  
文化財団所蔵品も特別展示室で  
展示しております。  
みなさん、ぜひご覧ください。



## 足利市民文化財団とは

足利市の持つ自然的・歴史的環境や関連する芸術品・文化財等の保護、また芸術・文化の振興、さらに文化施設の整備の促進などを目的に、昭和57年1月に発足し、設立40周年となります。平成25年4月には、新公益法人制度に基づく、公益財団法人の認定を受けました。この間、事業を支える基盤づくりとして募金活動を進め、この預金利子を事業資金として活用しております。今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 案内板による文化財めぐり

本財団では、市内の文化財の案内板を設置しております。

## 史跡樺崎寺跡(樺崎町)

中世を代表する豪族武士団足利氏の氏寺跡・廟所跡で、「鎌阿寺樺崎縁起并仏事次第」(鎌阿寺文書)によれば、足利義兼が文治5(1189)年奥州合戦の戦勝祈願のため創建したとされています。奥州平泉での戦いの際、毛越寺や中尊寺などの華麗な寺院を目指したことから、義兼も樺崎寺に浄土庭園を整備したものと思われます。明治維新後の神仏分離令により、樺崎八幡宮となりました。



史跡樺崎寺跡

## 樺崎八幡宮本殿(樺崎町) 足利市指定文化財

正治元(1199)年に源姓足利氏二代目・足利義兼が入定した場所に、その子義氏が八幡神を勧請し、父の靈を祀ったことが始まりとされています。本殿は天和年間(1681～1683)に再建されています。春日造に似た形式で、孔雀や鳳凰などの精巧な彫刻が施され、歴史的由来と合わせて価値の高い建造物です。



樺崎八幡宮本殿

## 光得寺五輪塔(菅田町) 足利市指定文化財

光得寺は源姓足利氏3代目義氏の開基といわれ、境内の足利氏歴代ならびにその重臣らの五輪塔は、本市を代表する中世の石造物です。これらは明治初期の神仏分離令に伴い、樺崎寺から法縁ある光得寺へと移設されました。鎌倉時代から室町時代にかけての五輪塔がこれだけ並んでいる姿はとても迫力があり、供養された人物もわかる歴史的価値の高い五輪塔群です。



光得寺五輪塔

## 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

文化財団の基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりです。

(単位：円)

科 目	令和二年度末残高	令和三年度増減額	令和三年度末残高
<b>基 本 財 产</b>			
投資有価証券	499,953,000	0	499,953,000
定期預金	30,487,000	0	30,487,000
美術品	117,221,890	0	117,221,890
小計	647,661,890	0	647,661,890
<b>特 定 资 产</b>			
投資有価証券	440,000,000		440,000,000
定期預金	112,917,816	0	112,917,816
小計	552,917,816	0	552,917,816
合計	1,200,579,706	0	1,200,579,706

## 所蔵品種別一覧

文化財団では、貴重な文化財等の足利市外への散逸を防ぐため、本市にゆかりのある貴重な美術品、文化財等の保護事業を進めています。3月末現在の文化財団の所蔵品は、下表のとおりです。

種 別	員 数	取得金額(円)
古文書等	2,219	7,459,890
刀剣・甲冑・銃	7	30,000,000
和鏡等	43	7,500,000
織物等	220	1,700,000
絵画等	78	70,562,000
計	2,567	117,221,890

令和3年度

# 事業報告 及び 決算諸表承認

令和4年6月16日に開催されました評議員会において、令和3年度の事業報告及び決算が承認されました。

## ■ 美術品・文化財の収集、展示事業

足利市にゆかりのある貴重な美術品の保存及び保護を目的とした収集を行うとともに、所蔵している美術品、文化財等についての理解と認識を深めてもらうため、所蔵品展を開催しました。

- 所蔵品展** 財団所有の刀剣と足利学校釋奠祭器の複製品、渡辺華山の作品と市民会館ゆかりの川島理一郎、飯田善國の絵画等を展示しました。

**期 間** 令和4年1月15日(土)～1月30日(日) **会 場** 足利市立美術館

**展示数** 35点 **入場者** 1,199人

- 所蔵品を足利学校の展示会の他、東京都内の美術館の展示会へ貸出をしました。



## ■ 地域の芸術・文化活動、文化財保護、自然環境保全活動を行う団体等に対する助成事業

次の事業に助成金を交付しました。

### 自然環境保全活動への支援

- ◎ゲンジホタル等養殖・保護・啓発事業

主催団体：名草源氏ホタル保存会

- ◎カタクリ群生地の保護事業

主催団体：名草観光協会カタクリ部会

### 足利市民文化祭・優秀作品展

- 期 間** 令和3年10月23日～11月28日

令和4年1月15日～1月30日

- 主 催** 足利市民文化祭運営協議会

**場 所** あしかがフラワーパークプラザ、市立美術館

### 各種団体への助成

市内の芸術・文化団体の自主的活動等を支援するため、16団体に対し、文化活動の費用の一部を助成しました。

## ■ 市制100周年記念事業

市制100周年記念事業として、2つの事業を実施しました。

- オペラ・リリカコンサート
- 極楽浄土の管弦と舞楽



オペラ・リリカコンサート

極楽浄土の管弦と舞楽

## ■ 文化講演会事業を足利文化協会と共に

**期 日** 令和3年10月30日(土)

**演 題** 「大伴旅人は『令和』をどう読んだのか？」

**講 師** 実践女子大学名誉教授 影山輝國 氏

## ■ 足利市内の文化財紹介・啓発事業

市内の文化財の周知や認識を深め、文化財の保護・活用の推進を図るため、文化財の写真を貸出しました。

## ■ 芸術・文化に関する情報提供

市民と財団の共通の広場として足利市民文化財団報を9月1日に発行し、市内の全世帯に配布しました。

- ホームページに、開催した行事等の動画・展示の写真を掲載しました。

## 寄付のお願い

足利市民文化財団の趣旨となる諸事業を実施していくため、「足利市文化振興事業寄付金」にご協力ををお願いいたします。あしかがフラワーパークプラザ・市立美術館などの施設に設置の募金箱でも寄付が可能です。毎年、皆様から寄付をいたしておりますことに感謝申し上げます。

事務局 ☎ 20-2229

令和3年度のご寄付ありがとうございました。  
・4万円 足利文化協会 (敬称略)

# 令和4年度事業予定

本財団の設立趣旨に沿った芸術品・文化財等の保護、芸術・文化活動振興事業などに資産からの運用益金を充てて事業を実施します。

## 文化財団設立40周年記念事業

足利市 教育委員会 との共催	あしかがの歴史と文化再発見! -鎌倉殿の義弟 足利義兼の祈り 大日如来坐像-
期 間	令和4年7月30日(土)~10月10日(月・祝)
会 場	足利市立美術館 ※文化財団所蔵品展示も 同時開催しています。

### 文化特別講演会

日 時	令和5年1月15日(日)
会 場	あしかがフラワーパークプラザ(市民プラザ)
講 師	史跡足利学校庠主 五味文彦 氏

## 文化講演会の開催事業

足利文化協会  
との共催

未来につなぐ市民会館 -新たな文化芸術拠点へ-

日 時	令和4年11月5日(土)
会 場	あしかがフラワーパークプラザ 401号室
講 師	渡邊美樹氏(足利大学教授)

## 美術品・文化財の収集、展示、貸出事業

足利市にゆかりのある画家等の作品や貴重な文化財などの散逸を防ぐため、芸術品や美術品の収集や所蔵品の展示貸出

## 文化財の紹介・啓発事業

- ・文化財写真パネルの作製・貸出
- ・文化財の案内板、標識等の設置・管理

## 芸術・文化に関する情報提供

- ・文化財団報の発行
- ・インターネット等の活用

足利市民文化財団HP▶



# 芸術・文化活動団体等の事業に助成します

芸術・文化の振興に寄与すると認められる団体に対し、その事業に必要な費用の一部を審査のうえ助成します。

## 対象団体

- 次の要件にすべて該当する団体
- 足利市内に住所又は活動の本拠を有する団体
- 一定の活動実績があり、広く市民に事業を公開する団体
- 団体規約等を有し、代表者が明らかな団体

所定の助成金申請書を9月30日(金)までに足利市民文化財団事務局に提出してください。  
(申請書は、ホームページからダウンロードできます。)

## 対象事業

- 文化活動の成果発表事業(展覧会、発表会)
- 文化活動研修事業(講演会、講座など)
- 自然・文化財保護活動事業

※営利、政治及び宗教活動を目的とする事業や参加者を会員等に限定する事業は対象となりません。

問合せ先 足利市民文化財団事務局 ☎20-2229



足利義兼は、母が源頼朝の従妹で妻が北条政子の妹という関係から、初期の鎌倉幕府での地位は高く、奥州合戦の戦勝祈願のため権崎寺を創建しました。権崎寺はのちに鎌阿寺の奥院(廟所)として位置づけられました。この権崎寺に伝わった2軀の大日如来像があり、その1軀が厨子入木造大日如来坐像です。厨子・光背・

台座などが当時のものを残している貴重なもので、国の重要文化財となっています。足利市での展示は32年ぶりとなり、この企画展を文化財団設立40周年記念事業として共催しております。

これからも、財団の趣旨に則り、歴史ある文化事業・活動等を応援してまいります。